

はじめに

本書は、整序問題の解法を効果的に学習できるよう、次のような工夫がされています。

〈本書の特色〉

◎ 整序問題で問われる最頻出項目を含む 600 題を精選

全国の有名私立大学の問題を中心に、最頻出項目を含んだ整序問題を精選しました。日本語が与えられた問題の他に、センター試験や一部の大学で出題される日本語のない問題も入っています。

◎ 文法編(1~362)、構文編(363~523)、イディオム編(524~600)の3部構成

文法編では、「英文法の基本項目の理解を試す問題」を、構文編では「知らなければ解けない構文の知識を問う問題」を、イディオム編では「イディオムを中心とした問題」を扱います。

◎ 難度別にレベル1からレベル3に問題を分類

各章は、レベル1→レベル2→レベル3のように段階的に学習できます。また、英語が苦手な人には、レベル1だけを第1章から第20章まで演習し、次にレベル2を第1章からといった学習法も可能です。

◎ 明快でわかりやすい解説

「日本語と英語の対応関係」を明快に示し、整序問題を解くプロセスをわかりやすく解説しています。また、文法・語法、構文、イディオムの知識を簡潔にまとめた囲み記事、**one point lecture**も本書の特色です。

本書を効果的に活用して、目標大学を突破してください。さあはじめましょう。

目次

()は問題編 ページ

文法編	1. 動詞・助動詞	4(4)	1
	2. 不定詞	12(11)	2
	3. 現在分詞・過去分詞	19(16)	3
	4. 動名詞	24(21)	4
	5. 前置詞	29(25)	5
	6. 疑問詞	34(29)	6
	7. 関係詞	38(33)	7
	8. 接続詞	49(42)	8
	9. 比較	56(48)	9
	10. 否定	64(54)	10
	11. 時制・態	70(59)	11
	12. 仮定法	76(64)	12
構文編	13. 目的・結果・程度構文	81(68)	13
	14. 無生物主語・名詞構文	85(72)	14
	15. it 構文(1)	93(79)	15
	16. it 構文(2)・There 構文	98(83)	16
	17. 倒置・強調構文	103(87)	17
	18. 省略・挿入・共通関係	108(92)	18
オイ ム デ イ 編	19. 動詞イディオム	114(97)	19
	20. その他のイディオム	123(104)	20
	索引	128	索引

one point lecture

解説頁

〈使役動詞〉	4
〈過去の推量・判断を表す助動詞＋ have done〉	7～8
〈提案・要求・命令を表す動詞の用法〉	9
〈知覚動詞〉	12
〈be to do (be to 不定詞)〉	13
〈人の性質を表す形容詞〉	14
〈疑問詞＋ to do〉	15
〈「難易」の形容詞が作る構文〉	18
〈付帯状況の with〉	23
〈動名詞の意味上の主語の表し方〉	25
〈意外な意味を持つ前置詞〉	29
〈of ＋名詞〉	33
〈what S be を用いた表現〉	39
〈関係代名詞の what vs. 接続詞の that〉	40
〈「同格」の that vs. 関係代名詞の that〉	55
〈比較級・最上級を強調する修飾語〉	56
〈倍数表現〉	57
〈「決して…ない」の表現〉	65
〈部分否定のいろいろ〉	66
〈仮定法の基本パターン〉	76
〈should や were to を用いた仮定法〉	78
〈無生物主語構文でよく用いられる動詞〉	87
〈名詞構文を用いた慣用表現〉	88
〈存在や出現を表す自動詞〉	98
〈「A と関係がある・ない」の表現〉	120
〈owe を用いた表現〉	122

28. ③⑥⑦⑤②①④

You **should have put part of your salary in the bank** each month.

▶ 「…を銀行に預けるべきだったよ」 **should have put ... in the bank** ▶ **should have done** 「…すべきだったのに(しなかった)」は過去の判断を表す。㊦22 ▶ 「給料の一部」 **part of your salary**

29. ②⑦⑤④③⑥①

Larry **suggested to his girlfriend that she commute by train.**

▶ 「ガールフレンドに…したらどうかと言った」 **suggested to his girlfriend that ...**
▶ **suggest to A that S V ...** 「Aに…することを提案する」 ▶ 提案を表す **suggest** の後の **that** 節中では、動詞の原形あるいは助動詞 **should** が用いられる。

one point lecture

(提案・要求・命令を表す動詞の用法)

次にあげる動詞[形容詞・名詞]の後に続く **that** 節中では、動詞の原形あるいは助動詞 **should** が用いられる。

suggest / propose / recommend / demand / insist / require / order / ask / necessary / essential / important / requirement, etc.

〈例〉 **They insisted that the debt be[should be] paid at once.**

「彼らは借金が直ちに返済されるよう要求した」

〈例〉 **It is essential that he himself go[should go] there.**

「彼が自分自身そこに行くことが不可欠だ」

ただし、**suggest** が「暗示する」、**insist** が「(事実を)主張する」の意味の場合は、動詞は現在形あるいは過去形となる。

〈例〉 **He insisted that he was right.**

「彼は自分が正しいと主張した」

30. ②④⑦⑤⑥③①

I have **decided to persuade my father to break the habit of smoking.**

▶ 「…する決心です」 = 「(すでに)…する決心をした」は現在完了形にして **have decided to do** と表す。▶ **decide to do** 「…する決心をする」 ▶ 「…をやめるように父を説得する」 **persuade my father to break ...** ▶ **persuade O to do** 「Oを説得して…させる」 ▶ 「タバコの習慣」 **the habit of smoking**